

目的 水中の有機物量を、ニクロム酸カリウムでの消費量を酸素当量として示す。

対象 洗浄剤、廃水など

分析項目 COD-Cr (ニクロム酸カリウムによる酸素消費量)

試験概要 欧米で良く使われる方法であり、強酸性下で酸化するため有機物の分解率が高く、COD-Mnよりも高い値を示す。
銀触媒の存在下でニクロム酸カリウム/硫酸を用いて酸化(150℃、2時間)させた後に測定する。

- ① リアクターの電源を入れて150℃になるまで加熱しておきます。
- ② ニクロム酸カリウム溶液、硫酸水銀(II)溶液、硫酸銀-硫酸溶液の入った蓋付き試験管に、試料2mlを添加し、よく振り混ぜます。



- ③ 試料入りのバイアルを150℃で2時間加熱します。



- ④ バイアルを約20分冷まし、波長600 nmの吸光度の測定を行います。

